

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等はFAXまたはメールでお願いします。
 メール返信の方は、右下の「感染症情報連携シート」をクリックして記載願います。
 県南保健所生活衛生部医療薬事課
 FAX0248-23-1252 メールアドレス kansen_kennan@pref.fukushima.lg.jp

感染症情報連携シート

麻しん(はしか)にならない! 麻しん(はしか)にさせない!

麻しんの年間報告患者数は百例前後にまで減少しております。
 しかし、海外には麻しんが流行している国が多く、海外からの訪問者や海外渡航者が麻しんウイルスを国内に持ち込む事例が散見されています。

全国で平成29年第41週(10月15日まで)までに188例の報告があり、平成28年の159件を既に大きく上回っています。

県南地域及び福島県では、平成26年に報告がありましたが、平成27年、28年、29年は報告がありません。

定期接種の対象者は 今すぐに麻しん・風しんワクチンを!!



麻しん・風しんの
 定期予防接種の時期
 1期 生後1歳
 2期 小学校就学前1年間

麻しんは、肺炎や中耳炎を合併しやすく、年齢にかかわらず命に関わる重篤な感染症です。
 麻しんは、感染力が非常に強く、空気感染もしますので手洗い、マスクのみで予防はできません。
 また、特異的な治療法もありません。しかし、**予防接種で予防可能な感染症**です。

1回の予防接種で免疫のつく割合は約95%です。しかし、時間とともに免疫が減少していき、麻しんにかかる可能性があります。ワクチンの効果を高めるため**2回接種が必要**です。

風しんは、軽い風邪症状で始まり、発疹、発熱、後頭部リンパ節腫脹などが主症状です。脳炎や血小板減少性紫斑病を合併することもあります。特に成人で発症した場合、高熱や発疹が長く続いたり、関節痛を認めるなど、小児より重症化することがあります。

また、妊婦が妊娠初期に風しんにかかると、お腹の中の赤ちゃんにも感染し、赤ちゃんが病氣(先天性風しん症候群)を持って生まれる可能性があります。

麻しん・風しんの定期予防接種対象者の保護者に対し、予防接種を受けるよう呼びかけをお願いします。

麻しん報告数(単位:件)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29 (41週まで)
県南地域	0	0	3	0	0	0
福島県	7	1	4	0	0	0
全国	283	229	462	35	159	188 (速報値)

★ 医療機関の皆様へ ★

- 麻しんを診断した場合は直ちに保健所に届出をお願いします。
- 発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、**予防接種歴を確認**するなど麻しんを意識した診療をお願いします。
- 発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻しんの感染力の強さに鑑みた**院内感染対策**の実施をお願いします。

厚生労働省 文部科学省

100万回のハグよりも、
 2回のはしかワクチンを。



はしかワクチンの接種は
 1歳になったら1回、
 小学校入学前の1年間にもう1回。

感染力の強いはしか(麻しん)は、空気を通して人から人へうつるため、手洗いやマスクだけでは予防できません。ワクチンの接種だけが、感染を防ぐただひとつの方法です。十分な免疫をつけるためには、2回の接種が必要です。

赤ちゃん、麻しん発症を積極的に予防します。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou21/

石田 真一 薬師 理子